

町を学び、未来を考える



6月2日、舟形中学校で2年生42名が、舟形町の産業を学び、町の魅力を調べ、10年後の舟形町を考える総合的な学習の授業「舟形町の産業とまちづくり」に取り組みました。

例年、中学校では町内事業者や農家さんの協力をいただき、町の商工業や農業を体験して地域の魅力を発見する「トライワーク」を行なってきましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。しかし、この状況下でも、ふるさとを好きになり、誇りを持ち、町の将来の担い手になってほしいという思いから、今年度は新しいやり方で取り組むことにしました。

この日は、町職員が農業、商工業・ふるさと納税、移住定住対策について説明。生徒たちは、普段の授業では学べない内容に真剣に聞き入っていました。今後は、興味を持った分野についてグループで調べ、発表を行う予定で、これからのまちづくりについて一年を通して考えていきます。

Cover Person ～表紙の紹介～



6月2日、舟形小学校の5年生が、昔ながらの手植えでの田植えを行いました。子どもたちは、ぬかるむ田んぼに悪戦苦闘。泥だらけになりながら、一生懸命植えていました。

広報 ふながた 6

もくじ ～Contents～

- p 3 …… ふなびく
- p 4 …… 特集：新たな日常に向かって
- p 8 …… 知って得する！マイナンバーカード
- p10 …… 令和2年度舟形町職員採用試験を実施します
- p11 …… まちのわだい
- p12 …… ふれあい広場
 - ・第5回最上小国川写真コンテスト
 - ・ゆるキャラグランプリ2020 THE FINAL
- p14 …… 青いシグナル、ぽっぽ舎通信、食べる力は生きる力、カメラアングル、戸籍の窓
- p16 …… 私たちの町内会

町長コラム

第2波に備えて

6月21日、日曜日の夕方に、部分日食が観測されました。現代においては、太陽と月と地球の位置関係によって起こる現象とわかってはいますが、その理由がわからなかった時代は災いの前兆などと恐れられ、たいへん不安に思われていたようです。現代においての不安の一つが、原因や治療、予防方法が確立されていない、新型コロナウイルス感染症です。19日、県境をまたぐ移動自粛が全面解除されました。夜の街も全面解禁されました。「社会経済活動を犠牲とする、これまでのやり方は長続きしない。しっかりと経済を回していく」との政府方針によるものです。東京での感染者が再び増えつつあることや、新型コロナウイルスの特効薬やワクチンが開発されていない状況下で、難しい判断だったと思います。判断の是非はともかく、そのことで、県においても町においても、感染のリスクが増したことは事実です。今年の秋以降に発生するといわれている第2波・第3波に備えて、新しい生活様式を守り、これまで以上に感染予防に努めなければなりません。町民のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。

森 富広

